

同時発表：沖縄総合事務局

令和7年10月17日
大臣官房参事官(イノベーション)

リモートメンテナンス現場実証の参加者を公募します ～DXで進化する施設管理の省人化～

日常的な施設の点検や災害時・障害時における迅速な対応を実現するため、離島等に所在する無線中継所において、各種センサー及び故障予兆ソフトを用いた設備監視の現場実証を行います。

今回、現場実証の参加者及び現場実証で使用する各種センサー及び故障予兆ソフトを以下のとおり公募します。

1. 現場実証について

国土交通省ではDXの一環として、施設の維持管理の省人化、効率化及び災害時・障害時の対応の迅速化に取り組んでおり、その取組の一つとして各種センサーを用いた設備監視の実証を行います。

本実証は、離島等に所在する無線中継所内の電気通信機器等にセンサーを設置し、電気通信機器や室内環境の状態を常時監視するものであり、振動、温度、湿度、気圧、風量、AC電圧、設備の稼働音や異常音等のデータを収集・蓄積し、設備の正常・異常の判断のほか故障検知・予兆を行うものです。

2. 公募について

(1) 公募期間

令和7年10月17日(金) から11月10日(月)まで

(2) 公募対象

無線中継所内の設備や環境を監視するため、各種状態を計測する標準センサー系と、設備の稼働音や異常音を収集・解析する音センサー系、さらにこれらのデータを解析・学習することで、設備の故障予兆を行う故障予兆ソフトウェアの技術を募集する。

(3) 公募要領、応募様式など

国土交通省HP(https://www.mlit.go.jp/tec/tec_fr_000172.html)よりダウンロード

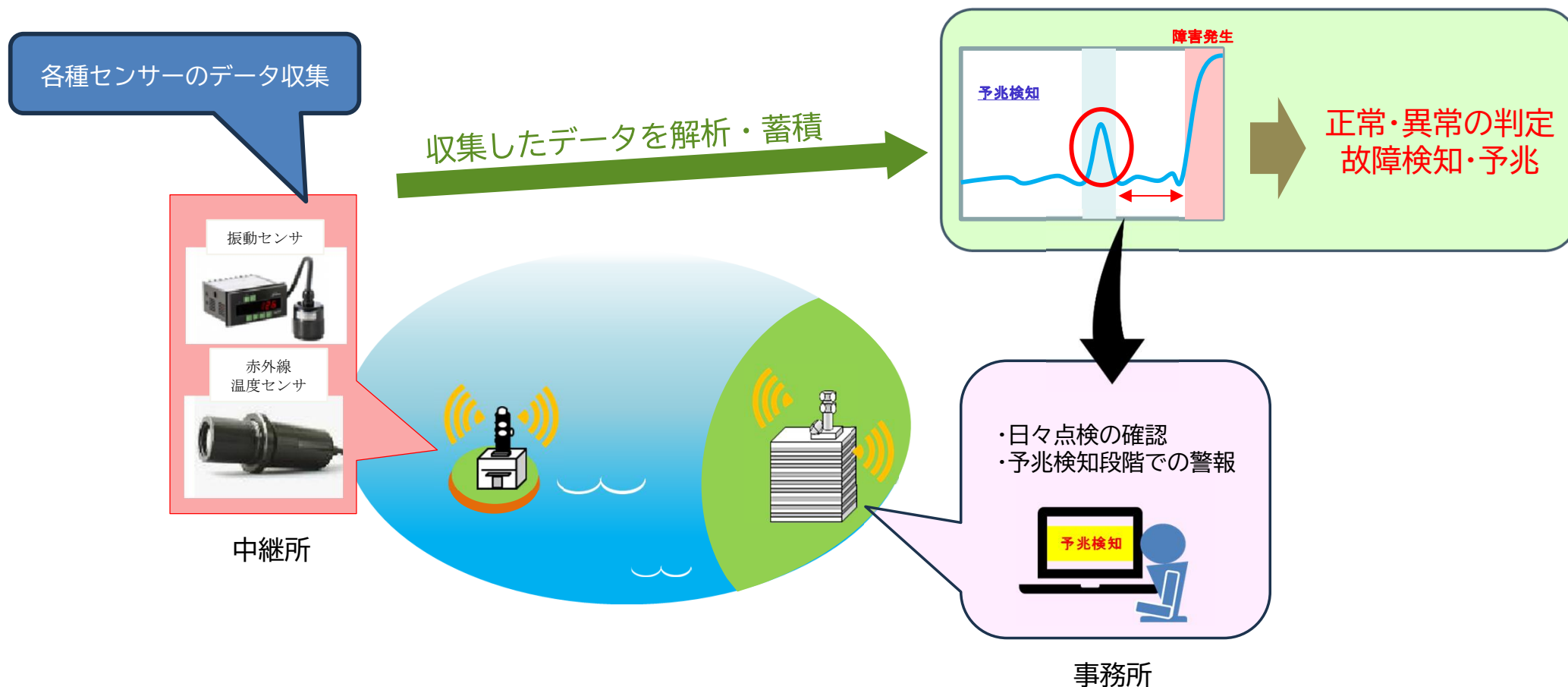
なお、実証は「令和7年度 電気通信施設におけるリモートメンテナンス次世代環境検討業務(運用)」の受注者である日本工営エナジーソリューションズ株式会社が実施します。

<問合せ先>

大臣官房 参事官(イノベーション) グループ 電気通信室 田胡、吉田

代表:03-5253-8111(内線 22364、22367)、直通:03-5253-8223

- ✓ 現場実証の参加者及び各種状態を計測する標準センサー系、ならびに設備の稼働音や異常音を収集・解析する音センサー系のリモートメンテナンス機器を公募します。
- ✓ 応募の中から選定した「リモートメンテナンス機器」を使用した現場実証を行います。



本実証は、電気通信技術ビジョン4「最先端DXによる施設管理の効率化・高度化」の取組です。
電気通信技術ビジョン4はこちらから (<https://www.mlit.go.jp/tec/it/vision/index.html>) ご覧いただけます。